

※株式会社リクルート キーマンズネットに2008年08月07日に掲載された記事より転載  
掲載されておりますサービス内容、料金などは、掲載日または更新日時点のものです。

掲載日：2008/08/07



今お使いの電話システムはそのままOK!

**固定もモバイルも  
更に便利に、もっとセキュアに、  
しかもコストダウン可能!**

- 携帯電話の業務利用
- SFAシステムとの連携

IntelliVoice MINC



今や携帯電話はビジネスに欠かせないコミュニケーションツール。しかし、携帯電話の業務利用について様々な悩みを抱える企業は少なくない。通信コストの問題もさることながら、例えば携帯電話から取引先への発信など社内のPBX(交換機)を介さない通話は、いかに高機能なIP-PBXやビジネスフォンシステムでも会社側で正確に管理・把握することが難しい。

こうした課題を解決するのが、インテリボイスが提供する「IntelliVoice MINC(インテリボイス・ミンク、以下:MINC)だ。既存のビジネスフォンなどの電話設備はそのまま使い続けながら、手軽に導入できるのが特長。更に、SFAやCRMなどの業務アプリとオフィスの電話をスムーズに連携させることも可能になるという。

#### INDEX

携帯電話の会社支給を廃止してコスト削減を図りたい！  
▶「MINC」のC2CBサービスで、すべて解決できます！

SFAシステムと連携して、効率的に電話営業を行いたい！  
▶オフィスの電話とSFAシステムをスムーズに連携できます！

より手軽に低コストで、自由なオフィスの  
電話環境を実現する「MINC」

携帯電話から取引先への外線も含めた  
通話録音も容易に実現可能に！

開発パートナー・販売パートナー募集中！

アンケート(プレゼント付き)



(株)インテリボイス社長  
**中村 健氏**  
「MINC」の開発者の  
ひとりでもある。

みなさん、こんにちは。インテリボイス・社長の中村です。先日、とある商社で電話システムをご担当されているシステム部の藤原さんから社内の電話環境をより便利に使いたい！というご相談をいただきました。そこで今回は、その内容を紹介しながら私たちの商品である「MINC」を活用した電話環境改善の仕組みを紹介していきます。最後までお付き合い下さい。



商社・システム部  
**藤原さん**  
社内の電話環境の改善が  
今のミッション

### 携帯電話の会社支給を廃止してコスト削減を図りたい！



社員の外出先での業務連絡用に、会社から携帯電話を支給しています。これを止めて、個人所有の携帯電話で業務利用分の通話料のみ会社が負担するルールにしてコスト削減を図りたいのですが…。実際に運用をしている企業のお話を聞くと、いろいろと問題も多いようで、何か良い解決方法はありませんか？

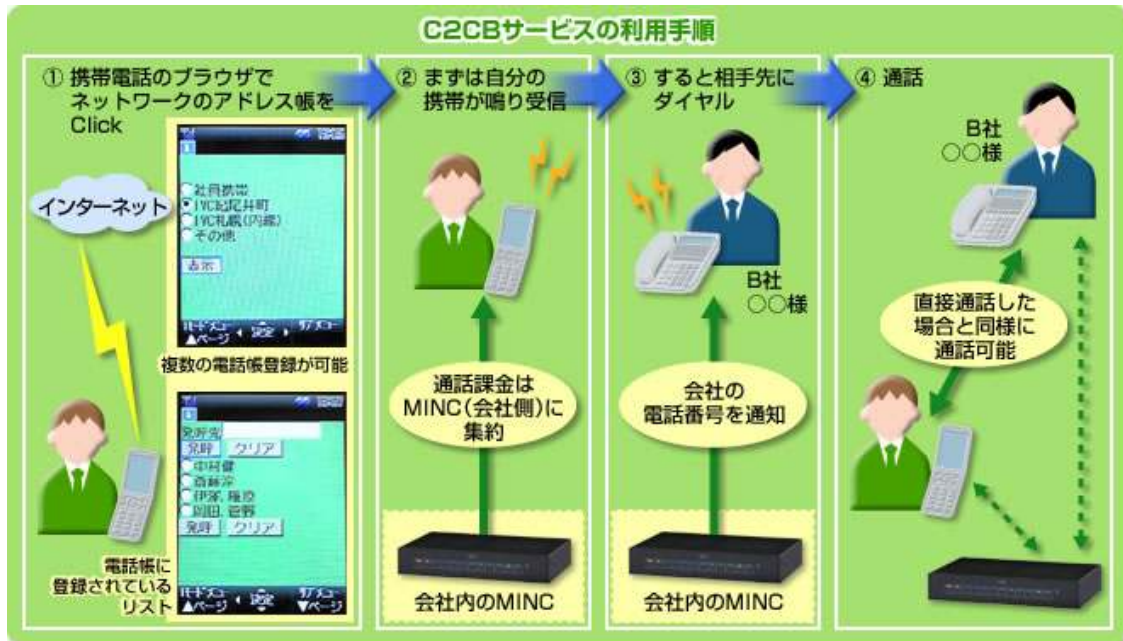
#### 個人所有の携帯電話を業務利用する場合の問題点

- 通話料精算のための請求処理は、現場の社員と経理部門の双方に負担がかかり、その分の生産性が低下。
- 携帯電話から取引先にかけての場合には、通話相手や通話時間などを会社側で正確に把握できない。
- 個人所有の携帯電話なのに、取引先に電話番号を通知しなければならない。

## 「MINC」のC2CBサービスで、すべて解決できます！

「MINC」は、こうした課題をすべて解決できる「Click to Callback (C2CB) サービス」機能を提供しています。C2CBサービスでは、あらかじめ「MINC」へのアクセスを許可する社員の携帯電話を登録しておき、取引先の電話番号は携帯電話のアドレス帳ではなく、すべて「MINC」のC2CBサービス側で管理します。携帯電話上では番号が表示されないで、万が一端末を紛失した場合でも、お客様の電話番号が漏洩する心配はありません。

C2CBサービスを利用して社員が外出先から取引先に電話をかける場合は以下の手順で通話が可能。相手先が通話着信すれば、携帯電話から直接かけたときと同じように通話できるという仕組みです。なお、「MINC」の概要についてはコンテンツ後半でご説明しますが、今お使いの電話システムと併用できるIP-PBXとお考えください。



※ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話を利用した場合。ウィルコムの場合は利用手順が異なります。



つまりC2CBサービスでは、発信は常に「MINC」=会社からということになります。このため、業務利用分の通話課金は会社側に集約され、後から分計処理を行う必要がありません。もちろん発信番号として相手先に通知されるのは、携帯電話の番号ではなく会社の電話番号。ダイヤルインサービスと「MINC」の転送機能を組み合わせれば取引先からの電話を携帯電話で着信することも可能なので、取引先に個人所有の携帯電話の番号を知らせることなく、発信信ともに対応することができます。

### C2CBサービスのメリット

- 業務利用分の通話課金は会社を集約されるので、請求分計処理が不要！
- 発信番号は会社の回線なので、取引先には携帯電話の番号を通知不要！
- 取引先の電話番号はすべてサーバで管理し、情報漏洩のリスクを大幅に低減！
- 携帯電話による通話でも、通話相手や通話時間を会社側で正確に把握！
- 携帯電話の会社支給による運用コスト（毎月固定の基本料金）を抑制！



これなら業務の効率化とコストの問題も解決できそう。セキュリティにも効果があるし…。



このようにC2CBサービスを活用することで、個人所有の携帯電話を業務で利用する場合の問題点を解消し、会社支給の携帯電話廃止もスムーズに実行できます。おおよその目安として、会社支給の携帯電話が7台以上なら、C2CBサービス導入によって携帯電話の運用コスト削減を図ることができでしょう。会社の固定電話と携帯電話間の通話を定額化するなど、キャリアの料金プランの組み合わせ次第では、更に大幅なコスト低減も可能となります。

## C2CBサービスの導入・運用コスト試算例

## ■ C2CBサービスに関する導入／運用コスト

	導入コスト	運用コスト／月	備考
MINC本体(主装置)収容端末10台 レンタルサービスとなります。	0円	15,800円	ソフトフォン3本、 保守費用を含みます。
C2CB	20,000円	5,000円	
小計(税別)	20,000円	20,800円	
消費税	1,000円	1,040円	
総計(税込)	21,000円	21,840円	

※上記の他、公衆回線網、インターネット接続に関する費用が必要となります。

## ■ 携帯電話の運用コスト比較例

	単価 (税込)	携帯の契約台数				備考	
		5台	7台	10台	13台		
携帯電話	基本料金(※1)	6,930円	34,650円	48,510円	69,300円	90,090円	
	割引適用後(※2)	3,465円	17,325円	24,255円	34,650円	45,045円	
MINC運用コストとの 比較(※3)	21,840円	4,515円	▼2,415円	▼12,810円	▼23,205円	7台目からMINC運用 コストがお得になります。	

※1 比較するモデルプランは通信料4,200円(税込)を含むプランとします。基本料金プラン以外の諸費用は含みません。

※2 基本的な割引プランを適用した場合の料金となります。

※3 割引適用後料金との比較となります。

▲このページの先頭へ

## SFAシステムと連携して、効率的に電話営業を行いたい！



営業部門ではSFAシステムを活用して顧客情報を一元管理していますが、既存・見込み顧客へのテレセールスを行うときには顧客リストを印刷して、手作業で1件1件電話をかけているようです。せっかくのSFAをうまく活かしていきれていない気がするのですが…。電話営業をもっと効率的に行ういい方法はありませんか？

## 現在の電話営業における問題点

- 印刷した顧客リストを元に1件ずつ電話し、手作業でチェックしていくのは効率が悪い。
- SFAなどの業務アプリケーションと電話を連携させるには、高額なシステムや大がかりなカスタマイズが必要。
- Skypeなどのリンク機能を持つアプリは多いが、まだまだソフトフォンは信頼性や使い勝手に難がある。

## オフィスの電話とSFAシステムをスムーズに連携できます！

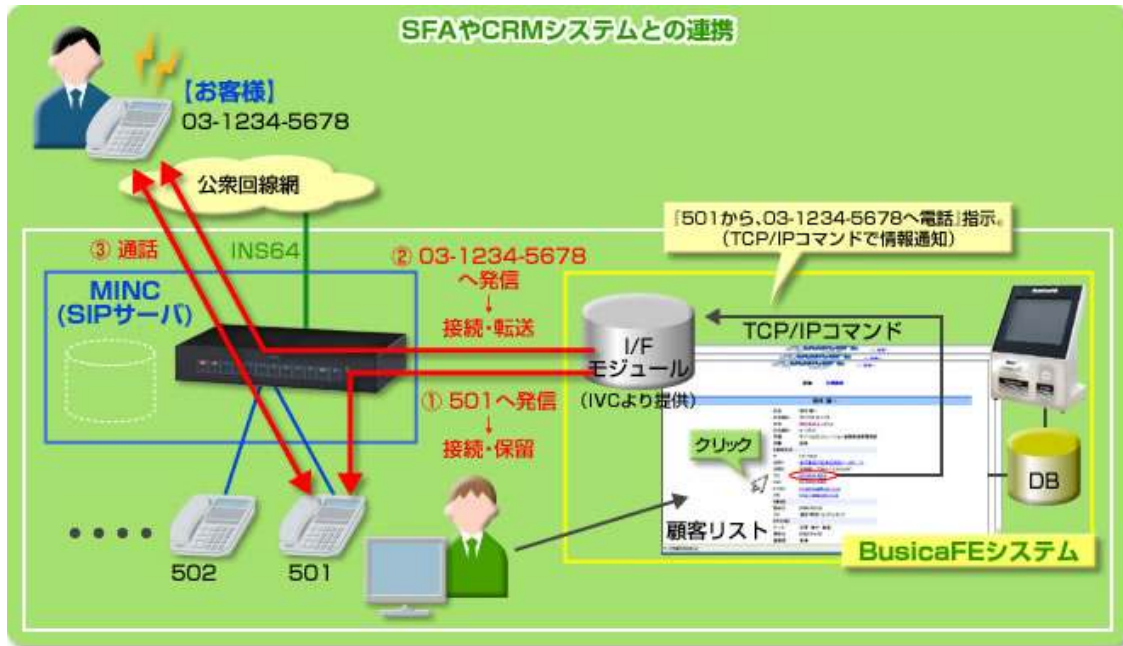
「MINC」では、SFAやCRMなどの業務アプリケーションとオフィスの電話を連携して、アプリケーション画面上の顧客リストをクリックするだけでその顧客に電話をかけるというシステムも構築可能です。その際に社員が使用する電話は、ソフトフォンだけでなく、有線IP電話機や無線LANのIP電話機にも対応します。なお、この仕組み自体は先ほどご紹介したC2CBサービスの機能を応用することで実現しています。

例えば、内線番号501の社員がSFAの画面上で顧客リストから電話をかけたい相手(電話番号03-1234-5678)をクリックすると、まず「MINC」が内線番号501を呼び出し、社員が応答すると、即座に相手先の外線番号03-1234-5678へ発信して接続するという流れです。

また、「MINC」ですべての通話を管理しているため、顧客リストからの電話発信だけでなく、電話をかけた相手の自動チェックや通話日時・時間の自動入力などのコンタクト記録をアプリケーションの機能として付加することも可能。「MINC」のインターフェースモジュールをアプリケーション側に組み込むだけで、容易にこのようなシステムを構築できます。

現在、このインターフェースモジュールをSFAやCRMなどのパッケージベンダ様やシステムインテグレータ様に向けて広くご提供中です。これにより、ユーザ企業様はより高度な電話との連携機能を持つ様々な業務アプリケーションをご利用いただけるようになります。





上記は(株)エーゼット様の「BusicaFEシステム(名刺共有管理システム)」との連携ソリューション。今後、連携先企業やシステムを増やしていく予定です。

#### 業務アプリ連携のメリット

- システム上で管理している顧客情報を有効に活用して、効率的な営業活動が可能！
- C2CBサービスの仕組みを応用しているため、システム構築は簡単！
- アプリ連携により、電話をかけるのはもちろんコンタクト記録を残すのも効率的！
- インテリボイス提供のインターフェースモジュールを組み込むことで、SFA/パッケージベンダやSlerはより付加価値の高いアプリケーションを顧客に対して提供可能！



SFAシステムを有効活用できれば、業務もスムーズに進行しそう。新たな企画や戦略にも使えそうだし…。

▲このページの先頭へ

## より手軽に低コストで、自由なオフィスの電話環境を実現する「MINC」



今回ご紹介したような機能を提供する「MINC」とは、IP電話の仕組みを適用した新時代のオフィス用電話システムです。従来のIP-PBXやビジネスフォンと比較して、より簡単に低コストで、自由なオフィスの電話環境を実現いただけます。高額な初期投資は不要で、今お使いのビジネスフォンなどの設備はそのまま使いながら手軽に導入でき、自身で設定も可能、すぐに使いはじめることができます。また、メーカーや機種に関係なく、固定・無線IP電話、デュアル携帯、スマートフォン、ソフトフォンなど、端末を自由に選択できるのも大きなメリットです。もちろん、既存の電話システムと併用するだけでなく、全社の電話システムを完全に「MINC」にリプレースしていただくことも可能。PBXやビジネスフォンのリースアップなどを機に、IP電話への段階的移行や将来的なフルIP化を検討されている企業は、ぜひご検討ください。



▲このページの先読へ

### 携帯電話から取引先への外線も含めた通話録音も容易に実現可能に！

現在「MINC」と連携するRTPレコーダ装置の生産を進めており、「MINC」のオプション機能として通話録音システムを2008年11月に提供開始予定。「MINC」本体と同様に、月額課金でのサービス提供となります。

これにより、従来の通話録音システムに比べて圧倒的に低コストで、オフィスの電話で発着信した通話の音声録音が実現できます。更に、C2CBサービスの機能と組み合わせることにより、従来はIP-PBXの管理対象外であるため不可能だった携帯電話から取引先への通話も、すべて録音できるようになります。



**開発パートナー・  
販売パートナー  
募集中！**

私たちは、「MINC」との連携機能をアプリケーションに組み込んでいただける開発パートナー及び販売パートナーを募集しています。セミナーも随時行っていますので、詳しくは下記アンケートフォームよりお問い合わせ下さい。

▲このページの先読へ

## 製品・サービスの取扱い企業

### 株式会社インテリボイス

住所：〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル1F

TEL：03-3511-2217

FAX：03-3511-3078

e-mail：[sales@intellivoice.co.jp](mailto:sales@intellivoice.co.jp)

URL：<http://www.intellivoice.co.jp/>

## 掲載企業

### 株式会社インテリボイス

住所：〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル1F

TEL：03-3511-2217

FAX：03-3511-3078

e-mail：[sales@intellivoice.co.jp](mailto:sales@intellivoice.co.jp)

URL：<http://www.intellivoice.co.jp/>